



## 平和について考えた 「ナギ」の木が取り持つ縁

皆さんは「ナギ」という木を知っていますか？漢字で書くと「榎」で常緑の高木です。ネット等で調べてみると本州では和歌山県の熊野速玉大社などに群落があると記載されています。「ナギ」は海が穏やかな状態である「凪」に通じることから船の航海安全を祈る縁起物であったり、「平和」を象徴する樹木として知られています。先日沖縄県議会議員の方から本校が管理している「ナギ」を見学したいとお話がありました。喜んで受け入れるとともに本校に「ナギ」が植えられている(4本あり)由来を関係職員に聞いてみると、戦後熊野速玉大社の住職様より、戦争で大変な思いをした沖縄にこそ「ナギ」の木を広げていきたいとの思いから当時の県立高校に大社のご神木である「ナギ」の苗を提供したいとの申し出があったそうです。しかし、遠い和歌山からの輸送途中に枯れてしまう苗も多く、栽培体制が整っている本島内の3つの農林高校に寄贈されて今に至っているとのことでした。さらに、平成24年の6月には、本校に関係者が集い「世界平和への祈り」榎特別大祭

も開催されています。私自身不勉強でその内容を知らなかったのですが、改めて経緯を聞くと「平和」に対する関係者の思いを継承していく必要性を痛感しました。特に6月は沖縄県に生まれ、住むものとして平和について考える特別な月です。本校でも平和学習を実施し、平和について理解を深めていきます。今世界では多くの国や地域で戦争・紛争が続いています。様々な報道を目にするたびに1日も早く終結し、平和な世界に戻って欲しいと願わずにはられません。私は今回の訪問を通して、本校にある平和の「ナギ」を日頃学んでいる農業の知識・技術を活かして地域に繋いでいきたいと考えています。本校の生徒達が増殖・普及活動を行い「平和」に貢献する経験を通して大きく成長する日が今から楽しみです。ちなみに、北部農林・中部農林高校にも当時寄贈された「ナギ」の木がきちんと管理されて育っています。

「榎」特別大祭の様子(H24当時)



校内にあるナギの木

## 学科紹介④(環境創造科)

**☆学科の目標**：環境調査・分析、造園、農業土木をキーワードとして地球規模の環境から身近な環境について幅広く学ぶとともに、植物の特性を理解し活かす環境の緑化・創造について知識・技術を身につけさせ、関連産業に貢献できる人材を育成する。

**☆設置コース**：①環境工学コース ②緑地創造コース

**☆主な生産物**：観葉植物、ハーブ類、シイタケ・キノコ類大根、トウモロコシ等野菜類、ガーデンテーブル・BBQテーブル等各種木工品

**☆主な学科行事**：各種資格取得講習(フォークリフト、造園技能検定、玉掛技能講習、車両計建設機械運転技能講習会等)、インターンシップ(3日間)、研修旅行(関西方面)



## ご迷惑をお掛けしました！



先日、1学期末考査最終日の最後の時間、テスト開始と同時に校内の火災報知器が作動するというトラブルがありました。私もすぐに校内の発報箇所の確認に向かいましたが、特に問題はなくホッと胸をなで下ろしていました。しかし、警報音が鳴り止むことはなく、学校周辺に警報音が鳴り響くこととなってしまいました。地域の皆様から学校へ苦情・確認の入電もあり、校内も騒然となったため、すぐにテストの中断を告げ(トラブルのせいで校内放送も使用不能だったので先生方に走り回ってもらいました)、生徒には教室内で待機してもらうよう指示しました。警報システムの管理業者が到着するまで少々時間はかかりましたが、何とか警報音も止まり20分遅れでテストを再開することができました。この内容は学校HPやスクリーンを活用して保護者の方々にも報告しました。ここ数日の大雨と雷の影響で機器に不具合が生じていることが原因で、生徒や地域の方々にはご迷惑をかけることになってしまい、誠に申し訳ありませんでした。先月の連休中にも同様のトラブルがあったこともあり、システムの修理が完全にはできていないことを考えるとしばらくの間、注意が必要です。安全管理に欠かせない警報装置がかえってトラブルの元になってしまっていることは残念ですが、災害ではなく機器のトラブルということでご理解をいただければと思います。ご迷惑とご心配をお掛けして申し訳ありませんでした。



## 第2回南農市を開催しました！

第2回南農市が6/17(水)に行われました。当日は梅雨の影響で雨が心配されましたが、多くのお客様(約240名)が来校して本校の生産物を購入していただきました。今回は2回目ということで、各学科とも前回の反省を元に改善を図り、臨みました。笑顔で接する・ハキハキと元気な声出し・商品の説明を丁寧に等生徒達はできることをよくやってくれました。もちろん、まだまだ完璧ではなく、上手いかなかったことも多くありましたが、「何事も経験、失敗から学び次に活かす」という姿勢でこれからも取り組んでいきますので、生徒達を温かい目で見守ってくださいね。



## 学びの意義×お弁当屋さん



先日、校内を歩いていると職員から「校長先生、午後の数学の授業に弁当屋さんが協力してくれるそうですよ」との連絡があり、早速覗いてみました。本校に毎日弁当を販売しに来てくれているダルマ弁当の屋嘉比さんが特別講師となり、弁当販売を通して利益をあげることや経営者の視点から数学を学ぶ意義について熱く語ってくれました。私としても社会(地域)貢献を今年度の柱に授業を展開してくださいと先生方をお願いしていることもあってこの授業を準備した先生の気持ちに感謝で一杯でした。生徒達も日頃お世話になっている弁当屋さんが先生となって授業してくれたことでいつも以上に積極的だったように思いました。授業の終わりに屋嘉比さんから「自分にとっても生徒の前で話ができて貴重な経験となりました」と嬉しい言葉が聞けました。南農ではこれからも学びの意義の理解のために地域と連携した授業を続けます。

弁当屋さんが今日の先生

